

令和 7 年 10 月 19 日執行

佐賀市議会議員選挙に関するアンケート調査

結 果 報 告 書

佐賀市選挙管理委員会・佐賀市明るい選挙推進協議会
令和 8 年 9 月

1. アンケート調査実施要領

目的

佐賀市選挙管理委員会及び佐賀市明るい選挙推進協議会では、令和7年10月19日執行の佐賀市議会議員選挙において、市民の皆様の選挙に関する動向を把握し、今後の選挙啓発活動等の参考にさせていただくことを目的にアンケート調査を実施した。

調査対象

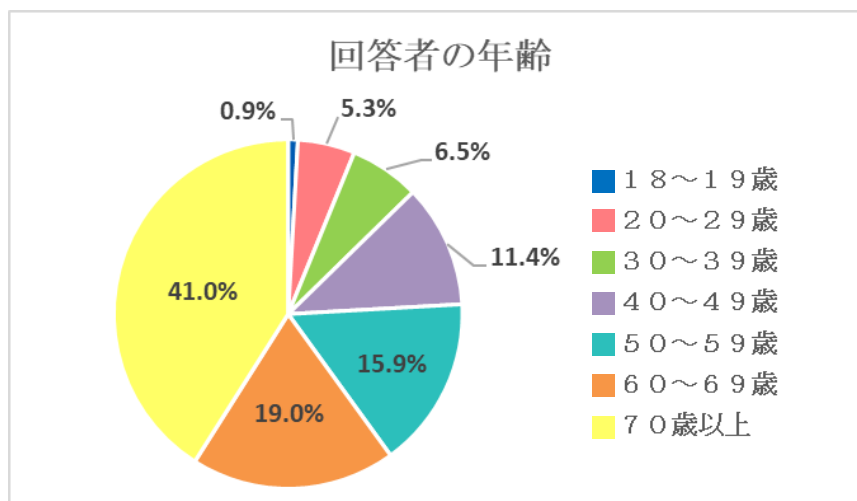
令和7年10月の佐賀市議会議員選挙の選挙時登録の選挙人名簿登録者185,747人(男86,352人、女99,395人)の中から、対象者を3,000人と決め、有権者数の比率及び年代別投票者の比率を用い、対象者を抽出するエリア、年齢の割合を決定し無作為に抽出を行った。

調査方法

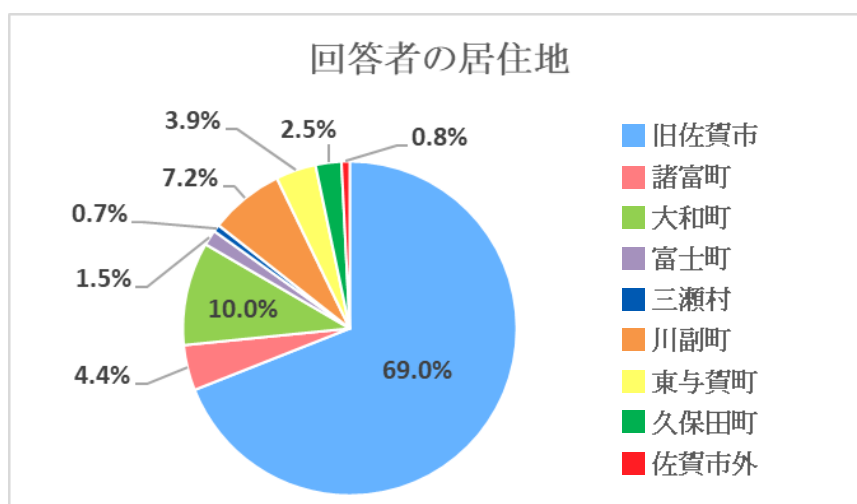
アンケート調査は、抽出者に対して、調査票を令和8年2月27日に郵送し(回答期限は令和8年3月13日)、同封した料金受取人払いの回答用封筒で調査票を回収する方法で実施した。また、調査票にQRコードを掲載することで、オンラインでの回答の受付も行った。その結果、回答者数は877人、回収率は29.2%であった。

2. 回収結果について

問1 あなたの年齢をお答えください。（※回答日現在でお答えください。）

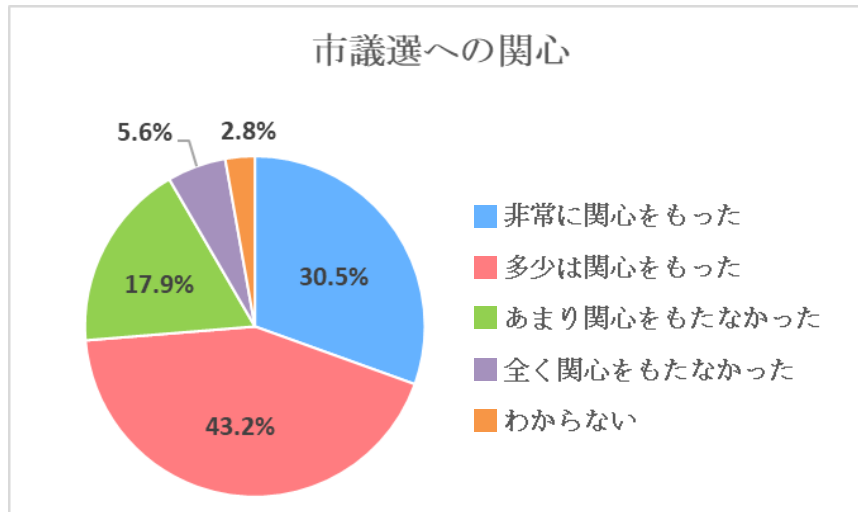


問2 あなたの居住地をお答えください。（※回答日現在でお答えください。）

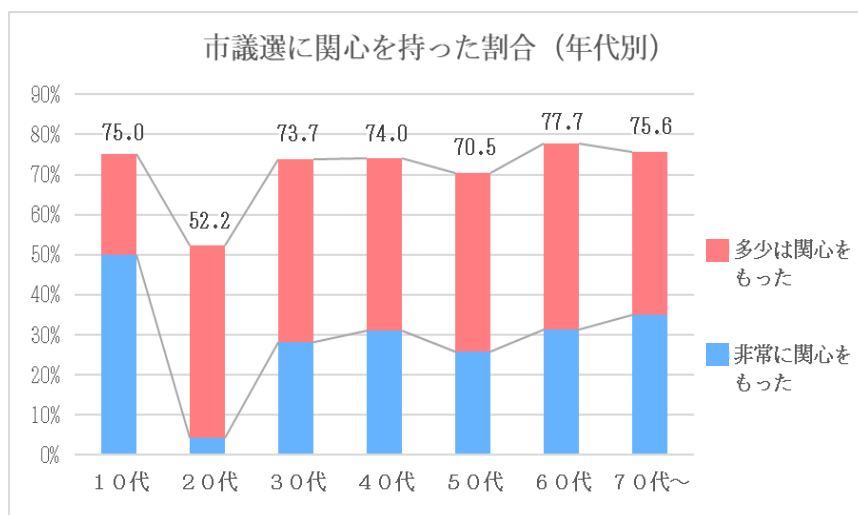


問3 あなたは今回の選挙について、どれくらい関心がありましたか。

全体として見ると、「非常に関心をもった」が30.5%、「多少は関心をもった」が43.2%で、あわせて73.7%が「関心をもった」と回答しており、多くの人が関心をもっていたことが窺える。



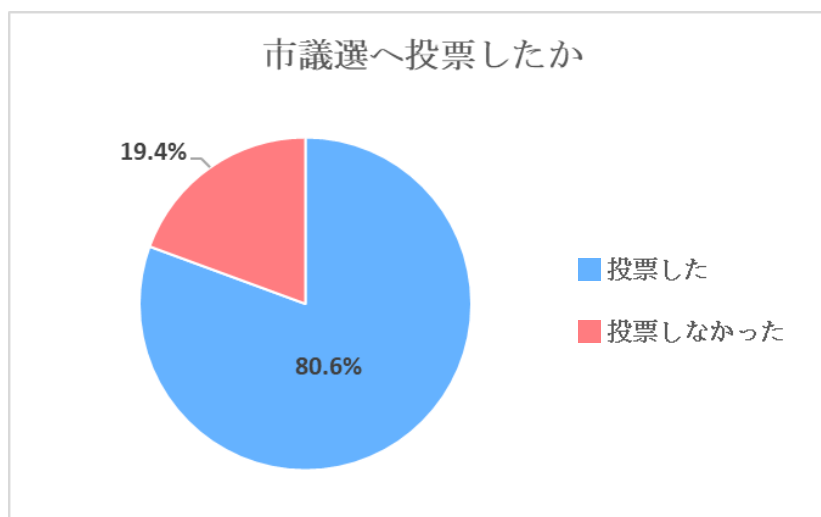
「非常に関心をもった」、「多少は関心をもった」の合計について年代別に見てみると、20代を除いて全体的に70%以上と高い割合になっている。20代においても、他の年代と比べると低い傾向にあるが、52.2%と半数以上が今回の選挙に関心を持った結果となった。



問4 あなたは今回の選挙について、投票しましたか。

本アンケート調査は無作為抽出法を使用したため、理論上は実際の投票率と近似値になることが想定される。しかしながら、実際の投票率が44.57%であるのに対し、調査結果は80.6%と実際の投票率よりも高い数値を示している。

この要因の一つとして、調査にご協力いただいた方は潜在的に選挙に対する興味や関心が高く、実際に投票された方も多い傾向にあると考えられる。



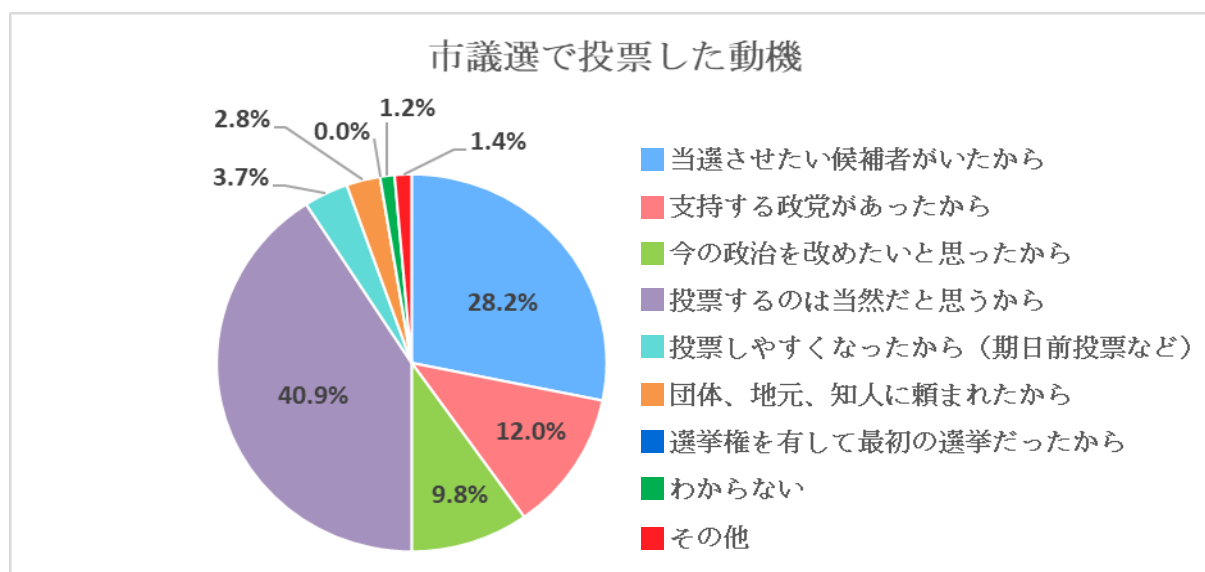
(実際の投票率は44.57%)

(問5は、問4で「1 投票した」を選んだ方のみご回答ください)

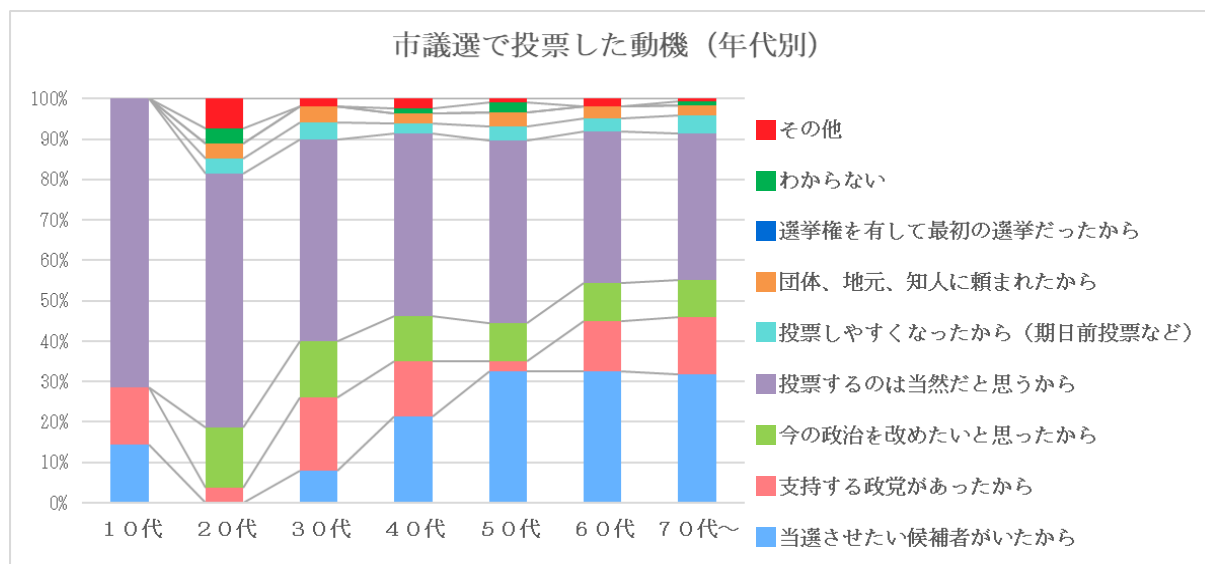
問5 あなたが投票した動機は何ですか。

全体として見ると、「投票するのは当然だと思うから」(40.9%)が最も高い割合となっており、投票への義務感が投票行動につながっていることが窺える。

次いで「当選させたい候補者がいたから」(28.2%)、「支持する政党があったから」(12.0%)、「今の政治を改めたいと思ったから」(9.8%)の順となっており、これらを合わせると50.0%となり政治・選挙への関心の高さも投票行動に影響を及ぼしていることが窺える。



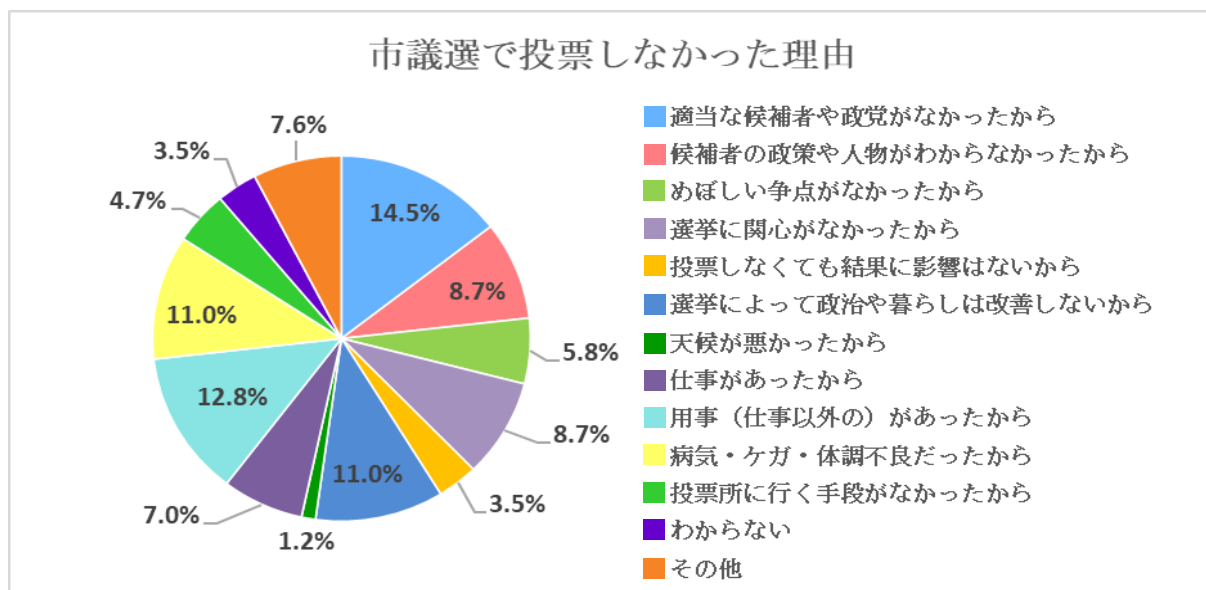
年代別に比較すると、年代が上がるにつれて「投票するのは当然だと思うから」と回答した割合が低くなり、「当選させたい候補者がいたから」や「支持する政党があったから」、「今の政治を改めたいと思ったから」といった政治・選挙への関心を示す回答の割合が高くなっている。このことから、若年層では投票の権利や義務感が投票行動につながり、年代が上がるにつれ、政治・選挙への関心から投票行動につながる人が増えていると推察される。



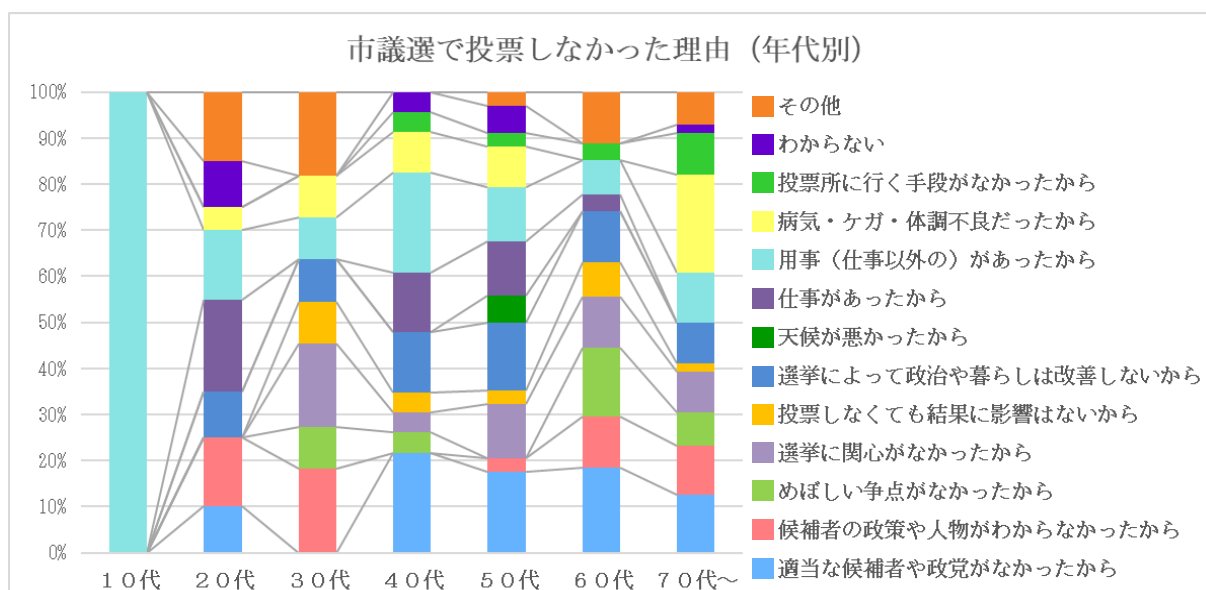
(問6は、問4で「2 投票しなかった」を選んだ方のみご回答ください)

問6 投票しなかった理由についてお答えください。

全体として見ると、「適当な候補者や政党がなかったから」(14.5%)が最も多く、次いで「用事(仕事以外の)があったから」(12.8%)となり、同率で「選挙によって政治や暮らしは改善しないから」・「病気・ケガ・体調不良だったから」(11.0%)の順となっている。



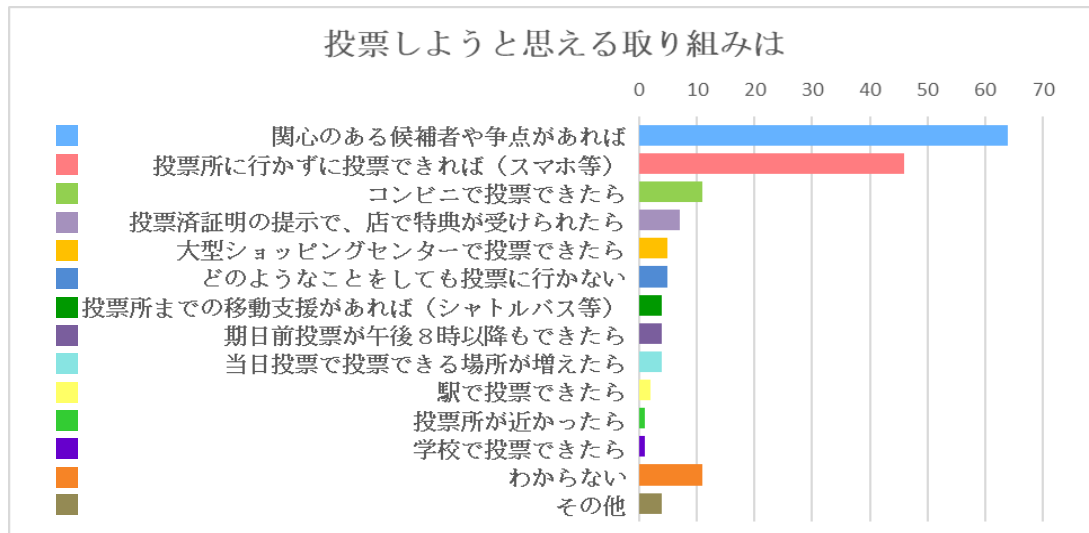
年代別に多かった回答を見ると、10代では「用事(仕事以外の)があったから」、20代では「仕事があったから」、30代では「選挙に関心がなかったから」、40～60代では「適当な候補者や政党がなかったから」、70代以上は「病気・ケガ・体調不良だったから」となっている。投票しなかった理由が年代ごとに異なっており、回答から各年代の特性や事情が窺える。



(問7は、問4で「2 投票しなかった」を選んだ方のみご回答ください)

問7 投票しようと思えるようになるのは、次のうちどれが実現されたときですか。

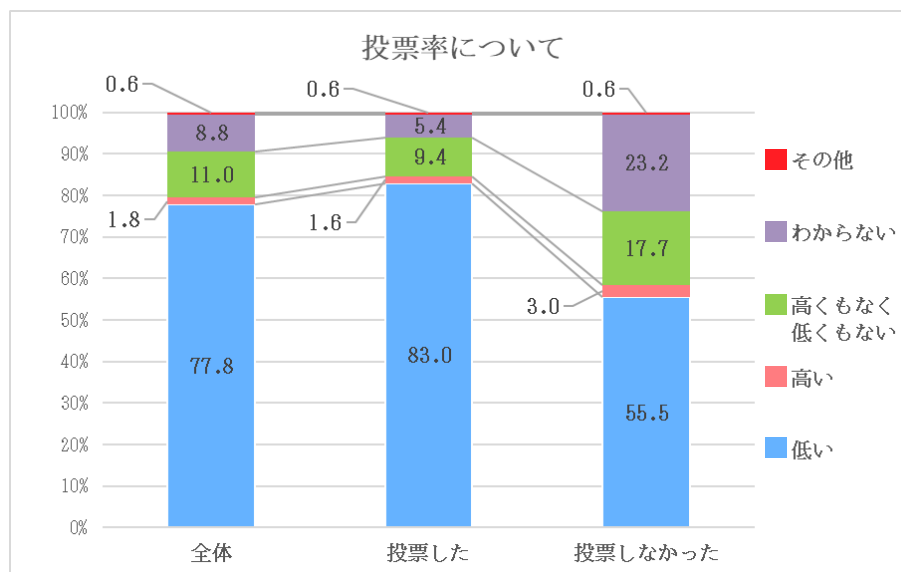
最も多かったのが「関心のある候補者や争点があれば」であり、次いで「投票所に行かずに投票ができれば (スマホ等)」、「コンビニで投票ができれば」の順となっている。



(注)「複数回答可」としていたため、割合(%)ではなく回答数での表示としている。

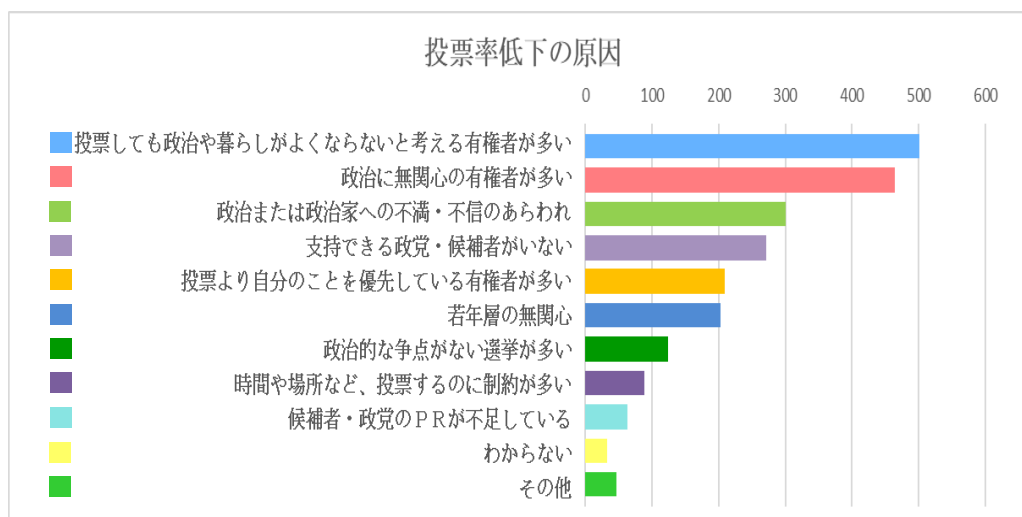
問8 今回の選挙の投票率は44.57%でした。過去の投票率も踏まえ、あなたは今回の選挙の投票率にどのような感想を持ちますか。

全体として、投票率が低いと感じている人(77.8%)が最も多い結果となった。また、「低い」と答えた割合を投票の有無で比較すると、投票した人は83.0%、投票しなかった人は55.5%と大きな開きがあり、投票への意識と投票行動に結びつきがあることが推察される。



問 9 投票率が低い原因はなんだと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

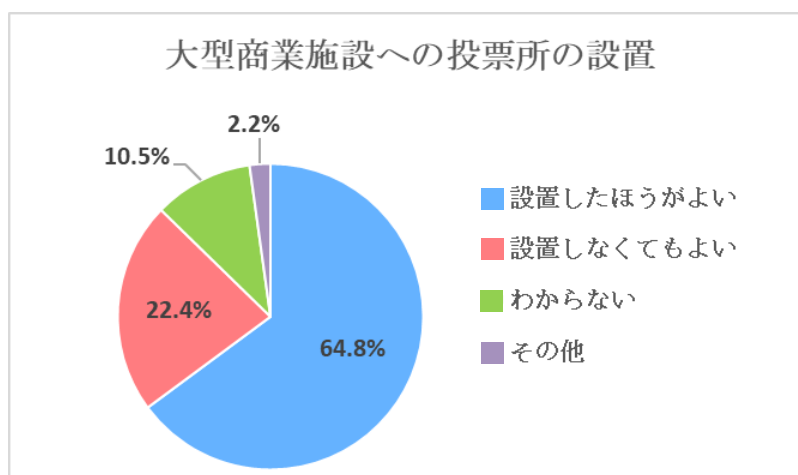
「投票しても政治や暮らしがよくなれないと考える有権者が多い」が最も多く、次いで「政治に無関心の有権者が多い」、「政治または政治家への不満・不信のあらわれ」、「支持できる政党・候補者がいない」の順となっている。このことから、投票しなかった要因の一つとして政治への無力感や不信感が考えられる。



(注)「複数回答可」としていたため、割合(%)ではなく回答数での表示としている。

問 10 投票環境の向上のため、期日前投票所や投票日当日の共通投票所(市内に選挙権を有する方なら誰でも投票できる投票所)を大型商業施設などに設置することが全国的に検討されています。このことについて、佐賀市ではどのように対応すべきか、あなたの考えに近いものを選んでください。

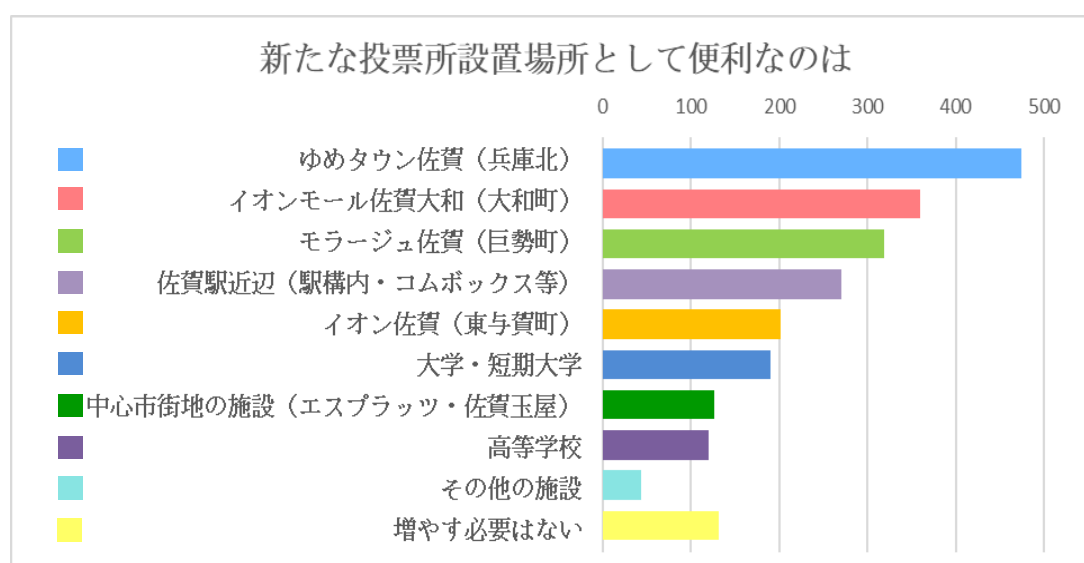
「設置したほうがよい」が64.8%、「設置しなくてもよい」が22.4%であった。投票所を大型商業施設などに設置しなくてもよいとする意見がある一方で、過半数以上が設置したほうがよいとしており、多くの人が投票所に対して利便性を求めていることが示唆されている。



問 1 1 期日前投票所や投票日当日の共通投票所を新たに設置するとした場合、どこが便利だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

「ゆめタウン佐賀」が最も多く、次いで「イオンモール佐賀大和」、「モラージュ佐賀」、「佐賀駅近辺（駅構内、コムボックス等）」、「イオン佐賀（東与賀町）」の順となっている。

一方、なかには「増やす必要はない」との回答もあり、一部の有権者は既存の期日前投票所で充足されていると考えていることが推察できる。

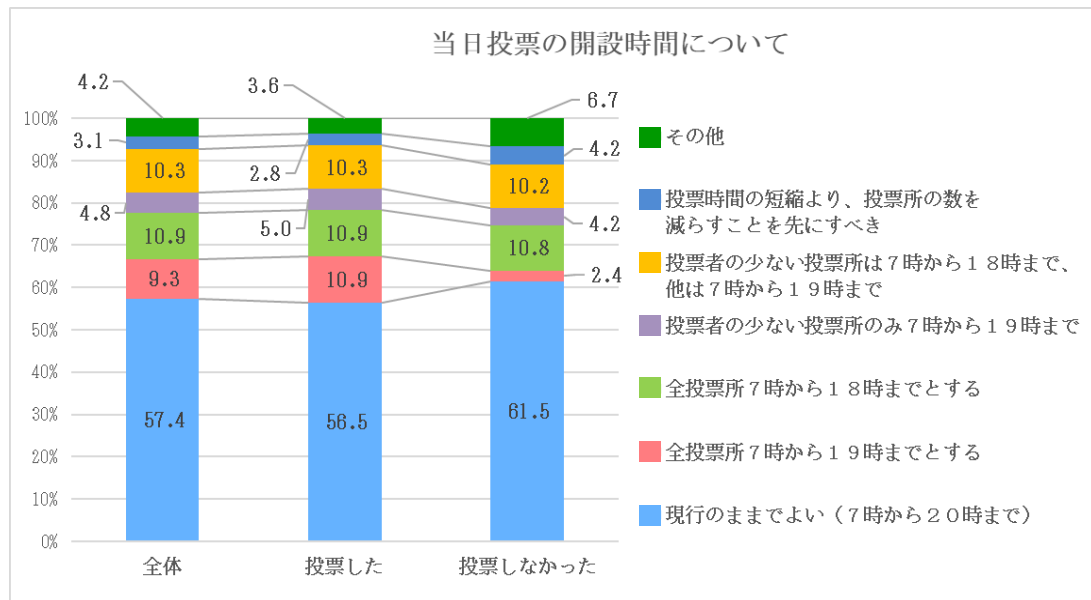


(注)「複数回答可」としていたため、割合(%)ではなく回答数での表示としている。

問 1 2 期日前投票する有権者の割合が増加傾向にある一方で、当日投票する有権者の割合は減少傾向にあることから、多くの市町村で当日投票所の投票時間の見直しがなされています。佐賀市で見直す場合、どのように対応すべきか、あなたの考えに近いものを選んでください。

全体として見ると、「現行のままでよい（7時から20時まで）」が57.4%を占めている。一方で、投票時間短縮に理解を示す回答はあわせて35.3%であり、「全投票所7時から18時まで(10.9%)」、「投票者の少ない投票所は7時から18時まで、他は7時から19時まで(10.3%)」、「全投票所7時から19時までとする（9.3%)」、「投票者の少ない投票所のみ7時から19時まで（4.8%)」の順となっている。

また、投票時間短縮に理解を示す回答の割合について、投票した人（37.1%）と投票しなかった人（27.6%）で比較すると、投票した人の方が多い傾向にある。

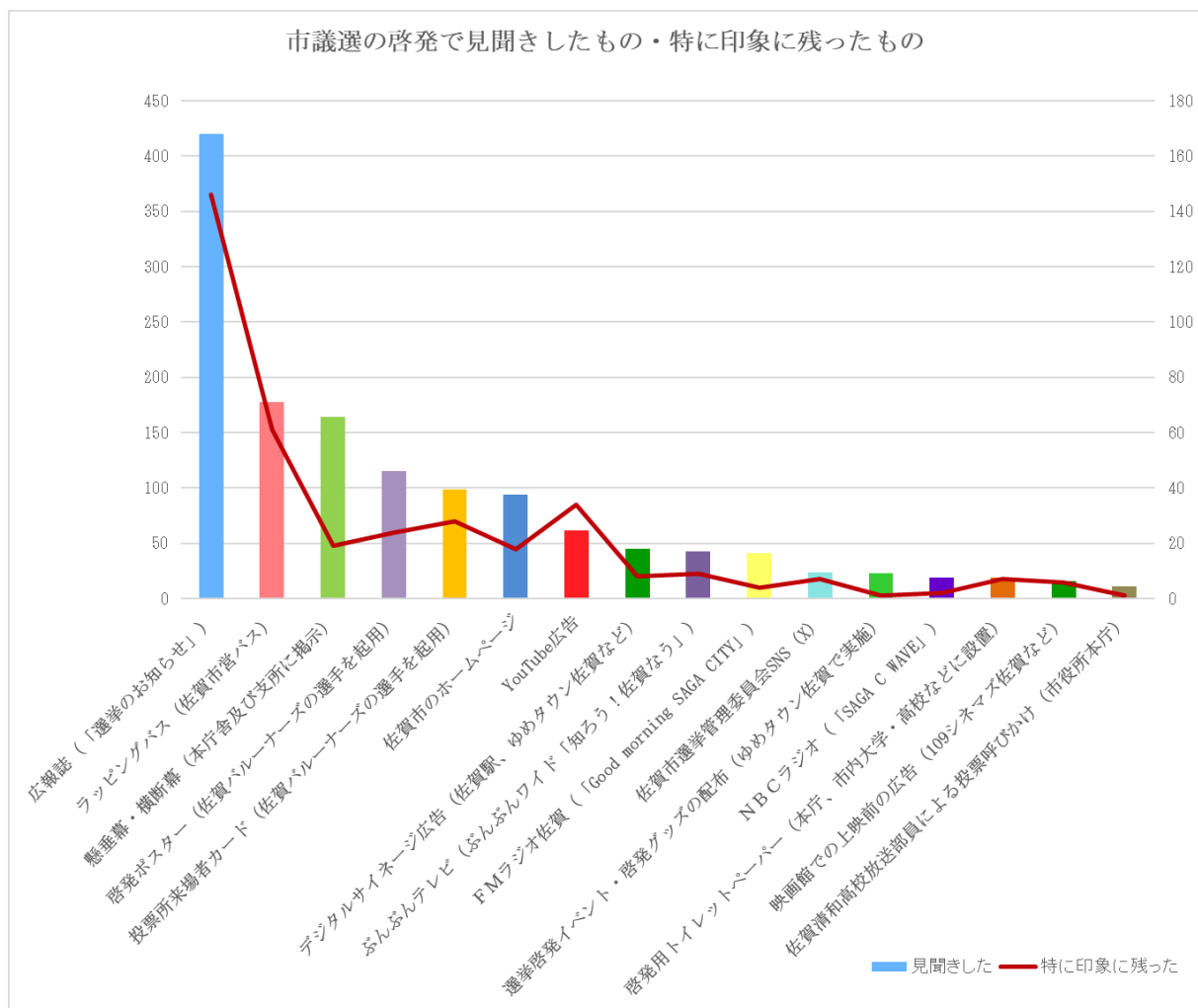


問 1 3 今回の選挙に関する選挙啓発について、見たり聞いたりしたものはありますか。また、その中で特に印象に残ったものはありますか。

見たり聞いたりしたものを全て選んでいただき、うち特に印象に残ったものを1つだけ選んでください。

選挙啓発について見たり聞いたりしたものでは、「広報誌（「選挙のお知らせ）」が最も多く、次いで「ラッピングバス（佐賀市営バス）」、「懸垂幕・横断幕（本庁舎及び支所に掲示）」、「啓発ポスター（佐賀バルーンズの選手を起用）」、「投票所来場者カード（佐賀バルーンズの選手を起用）」、「佐賀市のホームページ」、の順となっている。

その中で特に印象に残ったものについても、概ね見たり聞いたりしたもので数値の高かった啓発が多く選択される傾向にあるが、その他に「YouTube 広告」についても特に印象に残ったものとして高い数値を示している。これは、選挙における SNS の影響が増していることが一因であると推察される。

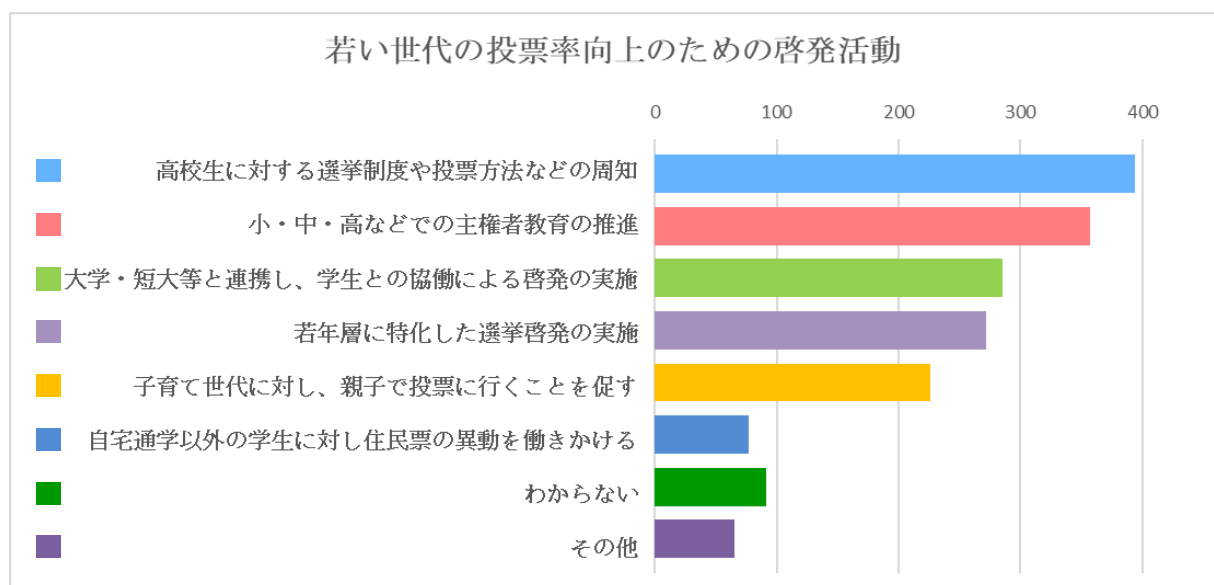


（注）「複数回答可」としていたため、割合（％）ではなく回答数での表示としている。

問 1 4 若い世代ほど投票率が低い傾向にあります。若い世代の投票率向上につなげるため、佐賀市選挙管理委員会でどのような啓発活動を行うべきと考えますか。当
てはまるものを全て選んでください。

「高校生に対する選挙制度や投票方法などの周知」が最も多く、次いで「小・中・高での主権者教育の推進」、「大学や短大と連携しての啓発活動の実施」、「若年層に特化した選挙啓発の実施」、「子育て世代への親子での投票の呼びかけ」の順となっている。

このことから、若い世代の投票率向上につなげるためには、主に学校を通した啓発活動を行うべきだと考えられていること、加えて親子で投票に行くことを促していくべきだと考えられていることが分かる。



(注)「複数回答可」としていたため、割合(%)ではなく回答数での表示としている。

◆その他の意見（アンケート最後のご意見欄）

- 商業施設にも投票所を設置してほしい
- 温暖化で昔のような気温ではないので投票所は冷暖房完備の施設に設置すべき
- 政治や選挙についての教育を幼児期からすべき
- オンラインや自治体アプリを活用して投票できるようにしてほしい
- もっと選挙の宣伝をしてほしい
- 公共施設や商業施設等の立ち止まれる場所にも選挙ポスターを掲示してほしい
- 投票所での動線を分かりやすくしてほしい
- できるだけ時間や費用の効率化を目指していただきたい
- 投票の呼びかけだけでなく、選挙により暮らしがどう良くなったかの概要版などを作成・公表し、「選挙に行くことによる意義」を市民に届けてほしい

【参考】調査票様式

令和7年10月19日執行佐賀市議会議員選挙についてのアンケート調査へのご協力をお願い

皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

佐賀市選挙管理委員会及び佐賀市明るい選挙推進協議会では、今後の選挙の管理執行及び啓発活動の参考にさせていただくことを目的に本アンケートを実施することといたしました。

ご多用の中、大変恐れ入りますが、上記の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、皆さまにお答えいただいた内容は、この調査以外の目的には使用いたしません。

【 ご回答にあたっての注意 】

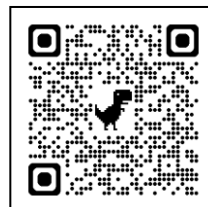
1. このアンケートは、佐賀市の選挙人名簿に登録されている方から無作為に対象者を抽出しご回答をお願いするものです。
2. アンケートは両面刷り4枚の7ページ14問あります。
3. 各質問について、特に指示のない限り、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○を付けてください。
4. ご回答が終わったら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
令和8年3月13日（金）までにご返送ください。
右下のQRコードからオンラインでご回答いただくことも可能です。
5. ご不明な点等がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号

佐賀市選挙管理委員会事務局

電話：0952-40-7330 FAX：0952-40-7383



◇問1 あなたの年齢をお答えください。（※回答日現在でお答えください。）

1. 18~19歳 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70歳以上

◇問2 あなたの居住地をお答えください。（※回答日現在でお答えください。）

1. 旧佐賀市 2. 諸富町 3. 大和町 4. 富士町
5. 三瀬村 6. 川副町 7. 東与賀町 8. 久保田町
9. 佐賀市外

◇問3 あなたは今回の選挙について、どれくらい関心がありましたか。

1. 非常に関心をもった
2. 多少は関心をもった
3. あまり関心をもたなかった
4. 全く関心をもたなかった
5. わからない

◇問4 あなたは今回の選挙について、投票しましたか。

1. 投票した
2. 投票しなかった

(問5は、問4で「1 投票した」を選んだ方のみご回答ください)

◇問5 あなたが投票した動機はなんですか。

1. 当選させたい候補者がいたから
2. 支持する政党があったから
3. 今の政治を改めたいと思ったから
4. 投票するのは当然だと思うから
5. 投票しやすくなったから（期日前投票など）
6. 団体、地元、知人に頼まれたから
7. 選挙権を有して最初の選挙だったから
8. わからない
9. その他（ ） ←ご記入ください

◇問6 投票しなかった理由についてお答えください。

- (問7は、問4で「2 投票しなかった」を選んだ方のみご回答ください)

1. 関心のある候補者や争点があれば
2. 投票所が近かったら
3. 投票所までの移動支援があれば（無料バスの運行など）
4. 大型ショッピングセンターで投票できたら
5. コンビニで投票できたら
6. 駅で投票できたら
7. 学校で投票できたら
8. 期日前投票が午後8時以降もできたら
9. 期日前投票のように、当日投票でも投票できる場所が増えたら
10. 投票所に行かずに投票できれば（パソコン、スマートフォンなど）
11. 投票所に行った証明を提示すると、飲食店で割引などの特典が受けられたら
12. どのようなことをしても投票に行かない
13. わからない
14. その他（ ） ←ご記入ください

◇問8 今回の選挙の投票率は 44.57%でした。過去の投票率も踏まえ、あなたは今回の選挙の投票率にどのような感想を持ちますか。

【参考】投票率の推移（佐賀市）

（市議会議員選挙）

平成29年10月15日	令和3年10月17日	令和7年10月19日
51.77%	56.03%	44.57%

1. 低い
2. 高い
3. 高くもなく低くもない
4. わからない
5. その他（ ） ←ご記入ください

◇問9 投票率が低い原因はなんだと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

【参考】国政選挙における投票率の推移（全国）

（参議院議員通常選挙・選挙区）

執行期日	投票率
令和 元年 7 月 21 日	48.80%
令和 4 年 7 月 10 日	52.05%
令和 7 年 7 月 20 日	58.51%

（衆議院議員総選挙・小選挙区）

執行期日	投票率
平成 29 年 10 月 22 日	53.68%
令和 3 年 10 月 31 日	55.93%
令和 6 年 10 月 27 日	53.85%

1. 政治に無関心の有権者が多い
2. 政治または政治家への不満・不信のあらわれ
3. 支持できる政党・候補者がいない
4. 投票より自分のこと（仕事やレジャーなど）を優先している有権者が多い
5. 投票しても政治や暮らしがよくならないと考える有権者が多い
6. 政治的な争点がない選挙が多い
7. 候補者・政党のPRが不足している
8. 若年層の無関心
9. 時間や場所など、投票するのに制約が多い
10. わからない
11. その他（ ） ←ご記入ください

◇問 10 投票環境の向上のため、期日前投票所や投票日当日の共通投票所（市内に選挙権を有する方なら誰でも投票できる投票所）を大型商業施設などに設置することが全国的に検討されています。このことについて、佐賀市ではどのように対応すべきか、あなたの考えに近いものを選んでください。

期待できるメリット	想定される課題
・有権者の利便性の向上 ・他の期日前投票所の混雑緩和 ・啓発効果	・投票所スペースの安定的な確保 ・混雑時の来場者の誘導や駐車場の確保 ・多額の費用を要する（ネットワーク構築経費等）

1. 設置したほうがよい
2. 設置しなくてもよい
3. わからない
4. その他（ ） ←ご記入ください

◇問 11 期日前投票所や投票日当日の共通投票所を新たに設置するとした場合、どこが便利だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

1. イオンモール佐賀大和（大和町）
2. イオン佐賀（東与賀町）
3. ゆめタウン佐賀（兵庫北）
4. モラージュ佐賀（巨勢町）
5. エスプラッツ（白山）・佐賀玉屋（中の小路）など中心市街地にある施設
6. 佐賀駅構内・コムボックス佐賀など佐賀駅近辺にある施設
7. 大学・短期大学
8. 高等学校
9. その他の施設（例えば ） ←ご記入ください
10. 増やす必要はない

◇問 12 期日前投票する有権者の割合が増加傾向にある一方で、当日投票する有権者の割合は減少傾向にあることから、多くの市町村で当日投票所の投票時間の見直しがなされています。佐賀市で見直す場合、どのように対応すべきか、あなたの考えに近いものを選んでください。

【参考】直近の国政選挙における当日投票所での時間別投票者数及び投票率（佐賀市）

	7:00 ~8:00	8:00 ~9:00	9:00 ~10:00	...	17:00 ~18:00	18:00 ~19:00	19:00 ~20:00
令和4年 7月10日 (参院選)	3,967人 2.07%	4,862人 2.54%	7,105人 3.72%	...	4,288人 2.24%	4,353人 2.28%	3,348人 1.75%
令和6年10月27日 (衆院選)	3,504人 1.86%	5,198人 2.76%	6,823人 3.62%	...	4,560人 2.42%	3,420人 1.82%	1,890人 1.00%
令和7年 7月20日 (参院選)	4,253人 2.27%	5,325人 2.84%	7,829人 4.18%	...	4,216人 2.25%	4,124人 2.20%	2,821人 1.50%

1. 現行のままでよい（7時から20時まで）
2. 全投票所7時から19時までとする
3. 全投票所7時から18時までとする
4. 投票者の少ない投票所のみ7時から19時までとする
5. 投票者の少ない投票所は7時から18時まで、他は7時から19時までとする
6. 投票時間の短縮より投票所の統合（数を減らすこと）を先に考えるべき
7. その他（ ） ←ご記入ください

- ◇問 1 3 今回の選挙に関する選挙啓発について、見たり聞いたりしたものはありますか。
また、その中で特に印象に残ったものはありますか。
見たり聞いたりしたものを全て選んでいただき、うち特に印象に残ったものを
1つだけ選んでください。

内 容	見聞きした	特に印象に残った
懸垂幕・横断幕（本庁及び支所に掲示）	1	1
ラッピングバス（佐賀市営バス）	2	2
広報誌「選挙のお知らせ」	3	3
啓発ポスター（佐賀バルーナーズの選手を起用）	4	4
投票所来場者カード（佐賀バルーナーズの選手を起用）	5	5
ぶんぶんテレビ（ぶんぶんワイド「知ろう！佐賀なう」）	6	6
F M ラジオ佐賀（「Good morning SAGA CITY」）	7	7
N B C ラジオ（「SAGA C WAVE」）	8	8
佐賀市のホームページ	9	9
佐賀市選挙管理委員会 SNS（X）	10	10
YouTube 広告	11	11
デジタルサイネージ広告〔電子看板広告〕 （佐賀駅前広場、ゆめタウン佐賀など）	12	12
映画館での上映前の広告 （109 シネマズ佐賀など）	13	13
選挙啓発イベント・啓発グッズの配布 （ゆめタウン佐賀で実施）	14	14
啓発用トイレットペーパー （本庁、支所、公民館、市内大学、市内高校に設置）	15	15
佐賀清和高校放送部員による投票呼びかけ （本庁で実施）	16	16
特にない	17	17

- ◇問 14 若い世代ほど投票率が低い傾向にあります。若い世代の投票率向上につなげるため、佐賀市選挙管理委員会でどのような啓発活動を行うべきと考えますか。当てはまるものを全て選んでください。

【参考】直近の国政選挙における年代別投票率 （佐賀市）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
令和4年7月参院選	32.75%	33.12%	42.31%	48.05%	55.80%	62.24%	63.05%
令和6年10月衆院選	40.47%	32.52%	43.54%	50.57%	58.20%	67.39%	68.26%
令和7年7月参院選	46.75%	48.33%	57.97%	59.74%	64.46%	69.72%	67.50%

1. 小学校、中学校、高等学校等での主権者教育(*)の推進
2. 高校生に対する選挙制度や投票方法などの周知
3. 大学や短大などと連携し、学生との協働による啓発の実施
4. 若年層に特化した選挙啓発の実施
5. 子育て世代に対し、親子で投票に行くことを促す
6. 自宅通学以外の大学生や短大生に対し住民票の異動を働きかける
7. わからない
8. その他（ ） ←ご記入ください

*主権者教育：主権者としての政治との関わり方を教える教育。

この一環として、選挙管理委員会の職員が学校などに出向いて選挙に関する出前講座や模擬選挙などを実施している。

◆その他、選挙に関してご意見等がありましたらご記入ください。

～アンケートへのご協力ありがとうございました～